

No.⑦	分類	3-(2)-イ	資料名	しあわせはこ べるように	学年	1・2年 共通	関連領域例	特別活動 (学級活動)
------	----	---------	-----	-----------------	----	------------	-------	----------------

1 ねらい

- 震災とボランティアについて理解しようとし、人と人がつながり合うことの大切さに気付く。

2 趣旨

- 阪神・淡路大震災の様子や東日本大震災や知り、厳しい状況の中でも人々がつながり合い支え合っていたことに気付かせる。
- 「しあわせ運べるように」を歌うことを通して、毎日を大切に生きようとするこことやつながり合うことのすばらしさに共感するようにしたい。

3 配慮事項

- 阪神・淡路大震災や東日本大震災を知らない児童も多いことを踏まえ、防災教育副読本「あすにいきる」等の教材や写真を用いて、震災の様子を捉えるようにする。
- 子どもたちや学校・地域の実情に合わせて、学習したことを日々の活動や支援活動につなぎたい。
- 震災についての保護者の考えや地域の実態を把握した上で、「ふるさと」に戻れない子どもたちがいることに配慮しながら学習を進める。

4 展開例

学習内容	指導上の留意点
<p>1 阪神・淡路大震災や東日本大震災の当時の厳しい様子や、復興について知る。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">阪神・淡路大震災や東日本大震災はどんな様子だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの建物が壊れ、亡くなった方もたくさんいる。 ・ 津波では、家や人が流され、町が水浸しになった。 ・ 大勢の人が協力して崩れた家から中の人を助けようとしている。 ・ みんなで食事を分け合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大地震について、知っていること、初めて知ったことを話し合わせる。 ・ 防災教育副読本や写真資料を使って補足説明し、阪神・淡路大震災やその他の災害の様子を伝える。また、被害だけでなく、人々が支え合う様子にも目を向けるようにする。 ・ 地域の実態に合わせて、身近な資料を用意する。 ・ 児童の震災に対する怖さのみが強調されないように気を付ける。
<p>2 「しあわせ運べるように」の歌を聞き、歌が作られたわけと、歌詞に込められた思いを考える。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「しあわせ運べるように」の歌は、どのような思いで作られたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震を忘れないように。 ・ 町や人がもう一度元気になるように願いを込めて作られた。 ・ みんなで力を合わせて町を元通りにしたい。 <p>(着目したい歌詞例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つよいところ ・ つよいきずな ・ まいにちをたいせつに ・ ささえあうところ ・ あしたへのきぼう ・ みらいをゆめみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌の題名を伝え、「聞いたことがあるか」と問い、興味をもたせる。 ・ 阪神・淡路大震災だけでなく、東日本大震災をはじめ、さまざまなまちや国の復興・幸せを願ってこの歌が歌われ続けていることを伝える。 ・ 教材文や歌詞を読んで、歌にこめられた気持ちを考えるように投げかける。 ・ 子どもたちなりの言葉で、人々の「絆」や「支え合い」「強さ」「やさしさ」「希望」などを表現したり感じたりできるようにする。
<p>3 「しあわせ運べるように」を歌う。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">気持ちを込めて「しあわせ運べるように」を歌いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌うことを通して、毎日を大切に生きようとする気持ちや互いに支え合う絆の大切さに共感させるようにする。 ・ 日々の活動や支援にもつなげる。